

支部だより

群馬県北毛支部 キッズガードの委嘱 及び見守り活動

去る一月二十日(月)、渋川市役所において、渋川市から当支部長以下五人の委員が「キッズガード」に委嘱された。「キッズガード」の目的は、昨年五月に発生した大津市の保育園児死傷事故を受けて緊急交通安全対策の一環として自治体や市民を委嘱し、保育所や幼稚園の原則半径五〇メートルに設置した「キッズゾーン」の範囲内で、子ども



市長挨拶の状況

供たちが散歩などに出掛けた際、事件や事故に巻き込まれないよう安全確保に携わるものである。委嘱式で、高木市長は「子供たちは園内だけでなく、外でさまざまな物に触れることで健やかに

成長する。安全に行動できるような皆さんに活動してほしい」と述べ、委嘱状と活動用の帽子、ビブスを手渡した。去る二月七日、渋川市から要請を受け、当支部長以下五人の委員が参加し、総勢十一人で市第一保育所周辺の「キッズゾーン」を散歩する園児に付き添い、車や自転車の往来に目を配るなど見守り活動を実施した。活動に先駆け、市長から「子供たちが楽しく安全に散歩出来るよう皆さんで守っていき」とあいさつがあり、オレンジ色のビブスと帽子を着用した「キッズガード」の見守り隊が、園児十四人の第一保育所から近くの「へそ地蔵」への往復を無事安全に散歩した。子供



保育園児及び「キッズガード」のメンバーの状況

たちを事件や事故から守ることに必要性を訴えるとともに、今後も渋川市の要請に協力し、地域の安全と安心のための活動を継続して、大いに善行会精神をアピールするこ

長崎県佐世保支部 善行会活動を続けながら介護を實踐するには

支部長 濱武 隆



善行会の皆様にはいつもお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。平成二十年七月二十七日に十一月十一日は「介護の日」と厚生労働省より発表されましたが、いい日いい日に決められました。明治生まれの母親は二十年前、九十二歳で寝たきりになり、言葉も発することができなくなり介護施設に入れると三時間しないとおむ

つは替えてもらえない話しに聞いて、妻と相談し自宅での介護を決断。かかりつけの病院に毎日の往診を頼むと快く引き受けて下さいました。このことは、介護未経験の私にとって本当に心強い限りでした。先生に教えてもらって流動食を作り、指先で口を開いてやっ喉に詰まらせないよう一時間ぐらしかけて母に食べさせました。どのくらいの量で腹八分になっていたかは最後までわかりませんでした。それでも牛乳を飲ませ、一時間半後にお茶を飲ませると、四十分後にはおむつが濡れていることに気がきました。冬場は風邪一つひかせないで済ませ、先生には喜んでいただき毎日来て、手伝わす。姉も善行会会員です。妻と先生、姉の理解と協力があつたからこそ在宅介護が成り立ちました。

感謝せずにいられません。今、振り返ってみると微力ながらも無我夢中で介護してきてくれた三人で支えてくれた私に感謝していかなくてはならないかと思うようになってきました。最近、新聞やテレビで知ったのが近い将来、高齢者の増加による介護人材の不足、介護に要する財源の増大などが予測されていることから、今後ますます介護を實踐するには難しい状況となります。今では、母親に介護を協力してもらった姉と妻の二人とともに二か所の介護福祉施設に入所し、介護を受けています。私は、就業しながら慣れない二人への支援活動と、掃除洗濯等の主婦業をこなしながら無我夢中で単身生活に取り組んでいます。これからが自分の人生。希望と夢を持って前向きに、いくつになっても「足し算人生」をずっと続け、まさしく継続は力なり、を地でいく決意であります。介護(支援)を實踐するには一日の目標を立て、

実践するといふ気持ちを持って強く持つこと。我が家のヒーロー！頑張れ！

ふる里自慢

北見地区支部

留辺蘂町温根湯温泉山の水族館

当館は一九七八年、北海道常呂郡留辺蘂町の温根湯温泉という小さな温泉街に当時の旧留辺蘂町立山の水族館郷土館として誕生し、



イトウによる迫力のいただきますライブ

幻の巨大淡水魚イトウや郷土資料などを展示する施設として長年地元で親しまれてきました。二〇一二年に北の大地の水族館として全面リニューアルを行い、現在では当館でしか見られない様々な展示方法で年間約十万人のお客様に楽しんでいただいております。館内に入るとまず目に飛び込んでくるのが日本初の展示方法となる滝つぼ水槽です。この水槽では頭上から流れ落ちる滝の真下に入り、悠々と泳ぐオシロココマの様子を眺めることができます。また日本でも最も大きな淡水魚のひとつでもあるイトウを多数展示しており、雄大な北海道の自然を感じることが出来ます。真冬にも見どころがあり、屋外に設置した川を模した水槽ではおんねゆ温泉の厳しい寒さにより水面



滝の下の魚を観察できる滝つぼ水槽

が結氷し、凍った川の下でもたくましく生きる魚の様子をご覧いただく事が出来ます。他にもおんねゆ温泉の熱帯魚や魚のふれあいコーナーなど生き物と地域の魅力を詰め込んだ水族館です。季節に応じて様々な表情を見せてくれる魚たちを沢山展示しています。これから暖かくなる季節、清涼感たっぷりな水族館へぜひお越しください。

香川県支部

秋季善行表彰伝達式並びに懇親会の開催

令和元年度秋季善行表彰伝達式、懇親会を令和元年十二月十五日(日)午後四時から宇多津町ホテルアネシス瀬戸大橋で開催した。

秋季善行表彰伝達式は、日本善行会の歌を流して(音声)を少しおさえて大浦文事務局長の司会で、北慎一副支部長の開会の言葉に始まり、西村一夫秀天支部長から受賞者公共生活への貢献で香川幸夫様、青少年指導員で増尾明善様、杉本義照様、星川叔子様、金泥千代様に表彰状及び記念品が伝達された。その後、西村支部長から各受賞者へのお祝いの言葉、有福哲二香川県議会議員、瀬戸隆一元衆議会議員よりご祝辞を賜り



ました。その後、受賞者を代表して香川幸夫様より謝辞の後、宮本隆義支部長の閉会の言葉で閉会し、そして記念写真を撮影した。引き続き、懇親会を行い西村支部長、綾宏坂北支部部長の乾杯の音頭で宴会に移り、和やかな雰囲気の中で各受賞者より受賞の喜びと現在の活動状況の報告、カラオケなどで歓談した。最後に支部の益々の発展を祈りつつ散会した。

善行川柳

選者 東 逸平

〇人和して 五輪がつなぐ 世の平和 北海道 齊藤 勉

評/本当にこうなっほしいですね。現実には、一年延期ということ、新型コロナウイルスという見えない敵が憎いですね。 宮城県 阿部 澄江

〇ありがたや 余生をつなぐ 善行会

評/老いの心境が良く表れています。善行会を余生に結んだ言葉が良いですね。 静岡県 真野 和代

〇自転車も 標識守って おぼえよう

評/自転車の事故が多発しているんですね。そういうえば、自転車も自動車も「車」なんですね。道路交通法では、自転車は軽車両と位置付けられ、歩道と車道の区別のあるところは車道通行が原則とされているのに、子供も乗せて歩道を走る自転車が多いですね。 大分県 佐藤 満洋

〇誰も持つ 優しい心が 福祉生む

評/そうですよ。誰もが持っている優しい心が、人のためになる奉仕や福祉の花を咲かせるのですよ。

計報



去る四月、日本善行会参行会参との須田耕作氏(九十五歳)東京都粕江支部顧問が逝去されました。粕江支部は昭和五十二年に創設され、須田氏は、平成七年から同二十年まで粕江支部長として会員増強と支部活動に尽力、また、日本善行会理事として同十一年から同二十年まで、その後の参与として本会の発展に多大の貢献をされました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会のおさそい

一般社団法人日本善行会では、善行の表彰並びに善行精神の普及と実践を通じ、明るく住みよい社会環境づくりに努めております。活動をご支援いただくために、広く会員をおさそい下さい。

- 会員の種類
- ① 普通会员(正会員) 個人 年額 五千元
 - ② 特別会員(正会員) 個人 年額 一万元
 - 法人 年額 三万円
 - ③ 賛助会員 個人 年額 千円以上
- ※明るいニュース年間購読料五百円含む